



基本5文型

<SVO> <SV0102>

英文法入門④

- <SVO>文型
 - 暗記は終わらない…?
- <SV0102>文型
 - 例
 - 例外的な動詞
 - SV02前01への書き換え

<SVO>文型



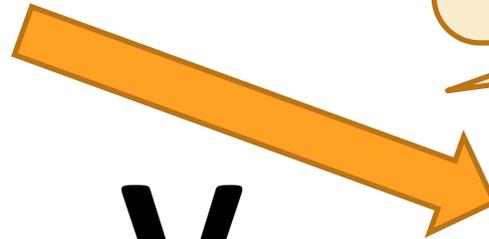
- 意味の傾向がほとんど存在しない
- **S≠O**
- **動詞の意味を暗記するならココに注力。**

It's me.



S

主語による



V

何らかの動作

O = 対象物

対象への

kick, wash, build など物理的動作
say, read, watch などの発信・知覚行為
change, educate, cool など性質に対する働きかけ
decide, suppose, love などの意志・思考・感情
... 要するに節操がない

<SVO>動詞の暗記は終わらない…のか？

- <SVO>は文型から動詞の意味を推測することがほぼ不可能である。
- では諦めてすべての<SVO>を暗記するしかない??

➡No. 単語の意味を推測するヒントは文型だけではない。

- **単語の構造を分析する（語根・接頭辞・接尾辞の理解）**（ジツ…）
- **文中の同形反復を発見する**（キュピーン☆）
- **論理接続を読み解く**（フムフム…）
- **主語と目的語の関係から予想する**（エイヤ!）



<SVO>でS=Oになる場合

- Oが再帰代名詞で書かれる

She loves her. 「彼女は彼女を愛する。」 S≠Oなので She と her は**別の人物**。
≠

She loves herself. 「彼女は自分を愛する。」 S=Oなので She と herself は**同一人物**。
=

逆に言えば
Oに再帰代名詞が入るときは必ずS=Oとなる。

※このときS=Oになったからといって<SVC>と混同しないように注意。
あくまで<SVO>の読み方で、たまたま行為者Sと対象Oが同じだけ。

<SV0102>文型



- **01に02を与える**
- 授与動詞とも呼ばれる
- **01≠02**
- 理解するときには**giveをベースにV自体の意味を混ぜて**考える
- 例外的な動詞：take, cost, owe
- **SV02前01の語順に書き換え可能**
 - S V 02 to 01 型
 - S V 02 for 01 型
 - S V 02 of 01 型

<SV0102>文型



It's me.



S

主語が

V



対象物

O2

O2を



O1

O1へ

このようなアクターが固定的に登場する動作は「与える」しか存在しないため
いくつかの例外を除いて<SV0102>は「与える」に関連した意味になる。

ちなみに「奪う」も同じアクターを要求する(矢印の向きが反対だが)が、英語では「奪う」は別に担当する文型(句動詞)があるので<SV0102>にはならない。

<SV0102>文型をとる動詞の例

- This decision will **give** you new opportunities.
- She **teaches** us ethnography on Tuesdays.
- He **told** me the rumor.
- **Buy** me Nintendo Switch!
- I'll **get** my son Nintendo Switch
- My dad **cooked** me a chocolate cake.
- I **asked** my teacher a question.
- This research **shows** us the feasibility of the idea.
- Will you **find** me a dinner plate?
- **Send** me email later.
- You have to **pay** me \$100 right now.
- **Leave** me a bite please.
- Could you **lend** me your motorcycle?



<SV0102>文型の例外的な動詞

<SV0102>で

「**01から02を奪う**（01に-02を与える）」

という意味になる動詞

①**take** ②**cost** ③**owe**

- It **took** me seven hours to cook ramen at home.
- Changing jobs **costs** me too much time and mental strain.
- You **owe** me 2000 yen, don't you?



SVO2前O1の語順に書き換え

- **To型** : <SVO1O2>ベースの動詞
= 相手がいないとできない動作
EX) give, teach, show, tell, send, lend, payなど
- **For型** : <SVO>ベースの動詞
= 相手がいなくてもできる動作
EX) buy, make, get, find, leaveなど
- **Of型** : ask



SVO2前O1の語順に書き換え

- This decision will **give** new opportunities **to** you.
- She **teaches** ethnography **to** us on Tuesdays.
- He **told** the rumor **to** me.
- **Buy** Nintendo Switch **for** me!
- I'll **get** Nintendo Switch **for** my son.
- My dad **cooked** a chocolate cake **for** me.
- I **asked** a question **of** my teacher.
- This research **shows** the feasibility of the idea **to** us.
- Will you **find** a dinner plate **for** me?
- **Send** email **to** me later.
- You have to **pay** \$100 **to** me right now.
- **Leave** a bite **for** me please.
- Could you **lend** your motorcycle **to** me?



SV02前O1の語順になるのはどんな時？

別にいつ使ってもダメってことはないけれども、<SV0102>で書くケースと<SV02前O1>で書くケースには、どっちがより自然か、一定の傾向がみられます。中には<SV02前O1>の語順で書かなければならないケースもあります。

【<SV02前O1>の語順が使われるケース】

- ①O1を強調するとき
- ②O1が長いとき
- ③O2が代名詞のとき（※この時は<SV0102>が使えない！）

これらの傾向は英語が持つ2つの性質に由来します。

- **強調するものは後ろに持っていきたい**

日本語でも何かを強調するときには倒置法を使って文末に持っていきますよね。

- **長いものは後ろに持っていきたい**

英語は文型の言語なので長ったらしくなる前に形式的に文型を完成させておいて足りないものを後から補足説明するということをよくやります。仮主語itとかもそう。



SV02前01の語順になる例

① 01を強調するとき

Bob! Did you eat the pudding!?

Dad bought that **for me** !! Not for you!!

ボブ！プリン食べたの!? パパは**私に**買ってくれたのに!! あんたにじゃなくて!!

② 01が長いとき

I need to give this presentation **to all the members of Engineering Advancement Association.**

エンジニアリング協会のメンバー全員にこのプレゼンを見せないといけない。

③ 02が代名詞のとき

○： I will show it **to you.**

×： I will show you it.

見せてあげるよ。

